

こどもらいぶらりーにゅーす

2024年8月 No.13

テーマ 「大人も絵本」

いつのころからか雑誌の特集や書店には「大人絵本」のコーナーが存在するようになりました。その理由は、子どものために絵本を手にとった大人が絵本の魅力に気付いたことや、大人が癒しを求めていることなどといわれています。本連載は、絵本には年齢制限はないので大人の皆様の息抜きにも…とはじめましたが、いつもは子どもと楽しむための紹介文です。今回は大人からみた時の視点で絵本を紹介します。ただし、どちらの本も子どもとも楽しめます

Just the way you are

※あなたはあなたのままでいい



『たいせつなこと』

マーガレット・ワイズ・ブラウン
フレーベル館 2001年

詩のような文章で翻訳を内田也哉子さんが担当されています。様々な物にとって大切なことが書かれていますが、すべては最後の一文につながります。

『ぼくを探しに』

シェル・シルヴァスタイン
講談社 1977年

かけらを探しにいくぼく。完璧を求めて心が疲れている時に心に寄り添います。白地に黒い線のシンプルな絵で構成されています。哲学書のように感じるかもしれません。

ぼくを探しに
シルヴァスタイン 作
倉橋由美子 訳

